



たくさんの参加者が加わり、大きな輪が広がりました。

生保内節盆踊り大会

8月18日、市役所田沢湖庁舎前を会場に「第48回生保内節盆踊り大会」が開催されました。今年には盆踊り賞や仮装賞のほか、特別賞として協賛企業から提供いただいた賞品がもらえる盆踊り大会に89人がエントリー。さらには、踊りを知っている方も知らない方も輪に加わって華麗な踊りを披露したり、個性あふれる衣装に身を包んだり、たくさんの参加者が盆踊りを楽しみました。このほかにも、民謡や郷土芸能の披露など多彩なアトラクションや出店が立ち並び、会場は盛り上がりを見せていました。

仙北市戦没者追悼式

8月24日、仙北市市民会館で「平成30年度仙北市戦没者追悼式」が行われました。戦争で亡くなられたご英霊のご冥福を祈りながら、参列者の皆さまより献花が行われました。戦後73年が経過し、ご遺族の高齢化が進むなか、戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代に語り継ぐ活動を今後も続けながら、今を生きる人としての責任を果たしていくことを誓いました。



清水さんの講話を興味深げに聞き入る子どもたち。

岡崎鎌川の歴史を探訪

8月14日、田沢湖岡崎鎌川地区の子どもたちが、夏休みを利用して鎌川八幡神社に集まり、同地区の案内役 清水雄二さんの講話を聞きながら地元の歴史にふれました。講話では、神社境内に残る樹齢千年を超える「鎮守の杉」や梵天を振りあげるほど勢いよく湧き出たことに由来し、いにしえより地域の生活用水として大事に守護されてきた「八幡さま梵天清水」のこと、かつては1年おきに梵天や素人演芸が楽しまれてきた神社であることなど、たくさんの興味深い内容に子どもたちは真剣に聞き入り、あらためて地元の由緒を感じとった様子でした。最後には、みんなで花火大会を楽しみ、夏の思い出となりました。

健康づくり講演会



講演するセルフアドヴァンス協会代表理事の水科江利子氏

8月27日、角館榊細工伝承館で「こことからだの健康づくり講演会」が開催され、100人を超える方々が参加されました。講師に、セルフアドヴァンス協会代表理事の水科江利子氏を迎え「笑おう！ほぐそう！心と体」と題し、先生の体験を介して心のあり方や体のメンテナンスの方法などの話がありました。参加者は、筋膜マッサージで背中や首・腰などのマッサージを行い、笑いを交えながら体が軽くなる効果を実感できたほか、心のメンテナンス体験では、自分自身の大切さを考えさせられました。昨年度に引き続きの講演会でしたが、参加者からは水科先生をまた呼んでいただきたいとの声が多く寄せられました。



第48回 大曲仙北中学校田沢湖一周駅伝競走大会 第23回 大曲仙北中学校田沢湖女子駅伝競走大会



8月28日、田沢湖畔で「第48回大曲仙北中学校田沢湖一周駅伝競走大会」「第23回大曲仙北中学校田沢湖女子駅伝競走大会」が行われ、男女ともに24チームが参加しました。
男子（7区間20・6km）は大曲Aが1時間7分22秒、女子（5区間12・6km）は大曲Aが46分08秒で優勝しました。市内中学校では、男子の角館Aが1時間8分51秒で準優勝と健闘し、女子は角館Aの4位（47分08秒）が最高位でした。

市内中学校の成績は次のとおり。
【男子】2位…角館A 4位…角館B 7位…神代 15位…生保内 19位…西明寺A 23位…西明寺B 24位…榎木内
【女子】4位…角館A 11位…神代A 13位…角館B 16位…西明寺 18位…生保内 19位…榎木内 21位…神代B





第42回 きたうら水泳競技大会

8月26日、角館小学校プールで「第42回きたうら水泳競技大会」が行われました。当日は市内の小学生などが参加し、練習の成果を発揮しました。主な成績は次のとおり。(敬称略)

- ◆【総合成績】
- ◆最優秀団体賞：アクアスポーツ少年団
- ◆優秀団体賞：神代小学校
- ◆【優秀選手賞】
- ▼木元晴樹 ▼木元ひなた ▼木元凛咲 ▼木元穂香 ▼藤邑晃暢 ▼佐藤大雅 ▼石川才稀 ▼藤井咲那 ▼藤原慧 ▼藤原晟

【大会新記録】

■小学校3・4年女子100mメドレーリレー／神代小学校チーム ■小学校5・6年女子100mメドレーリレー／アクアAチーム ■中学校全学年共通男子100m自由形・200m個人メドレー・50m背泳ぎ・50mバタフライ／千葉大和 50m自由形／千葉大和、三嶋弥千瑠 ■小学校3・4年女子25m背泳ぎ・50m背泳ぎ／石川才稀 50m平泳ぎ／藤井咲那、石川才稀 50m自由形／石川才稀 ■小学校3・4年男子25m背泳ぎ・バタフライ・平泳ぎ・100m個人メドレー・50m背泳ぎ・50mバタフライ・50m平泳ぎ／木元晴樹 100mフリーリレー／アクアAチーム ■小学校5・6年男子200mフリーリレー／アクアAチーム ■男子200mフリーリレー／桜木内OBチーム

「栄養の日」街頭キャンペーン

8月4日は、8(エイト)と4(よん)で「栄養の日」として、全国各地で啓発キャンペーンが繰り広げられています。

仙北市食生活改善推進協議会では、8月3日と9日に市内のスーパー店頭で「栄養の日」啓発街頭キャンペーンを行いました。リーフレットを配布しながら、減塩と野菜摂取の大切さについて伝え、食事による健康づくりについて再確認していただきました。



スーパーの店頭で、食事による健康の大切さを呼びかけました。

平成30年度 秋田県和牛改良共進会

8月19日にあきた総合家畜市場(由利本荘市)で「平成30年度秋田県和牛改良共進会」が開催され、西木町小山田の田口春美さんの『はるにしき390号』が、第2区(若雌の1)で特別賞に選ばれ、中躯賞を受賞しました。

また、同会場で開催された「あぎたの畜産・市場まつり」では、ふれあいコーナーや乳搾り体験、パーベキューコーナーなどが盛況で、会場を訪れた人々は秋田の畜産の魅力を様々な形で体感していました。



中躯賞を受賞した田口春美さんの『はるにしき390号』。

- ◆成績は以下のとおり。(敬称略) () は地区。
- 【特別賞】
- 中躯賞／はるにしき390号 田口春美(西木)
- 【第1区(育成雌)】
- 3等賞2席／そのだ174号 菅原孝作(角館)
- 【第2区(若雌の1)】
- 2等賞2席／はるにしき390号 田口春美(西木)
- 3等賞1席／はるにしき391号 田口春美(西木)
- 【第3区(若雌の2)】
- 2等賞1席／そのだ163号 菅原孝作(角館)



『ユニバーサルツーリズム』でおもてなし 小林 裕高



まちと人をつなぐ「ヤタイ」を活用して地域おこし。左側が小林さん。

昨年の2月から角館町に移住し、地域おこし協力隊として活動しています。そもそも地域おこし協力隊ってなに?という方が多いのではないのでしょうか?地域おこし協力隊とは、都市地域から過疎地域に住民票を異動し、地域協力活動を行いながら、定住に向けた起業や就業を目指すものです。任期は最長で3年。私も1年が過ぎ、地域おこし活動2年目に入りました。

協力隊員はそれぞれ活動テーマが設けられ、自分はユニバーサルツーリズムという誰もが安心して楽しむことができる旅行の実現に向け、日々活動しています。昨年はその活動の実現に向けて介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)、国内旅行業務取扱管理者、障害者スポーツ指導員、ユニバーサルマナー2級など資格取得に励みました。そして、今年の7月には講師に岸田ひろ実さんを迎え、ユニバーサルマナーに関する講演会を角館小学校で開催し、その翌日には『ユニバーサルマナー検定in仙北市』を角館交流センターで開催することができました。

ユニバーサルマナー検定とは『自分とは違う誰かとの正しい向き合い方』を学べるマナー検定で、障がい者や高齢者、訪日外国人、乳幼児連れの方など日常生活に不便を感じる人々への優しい接し方が学べるものです。今回は3級を約60人の市民の皆さまに取得していただきました。次年度も継続して取り組んでいきたいと思っています。

現在、車イス牽引補助員『JINKR-1K』を使い、角館高校生徒会の皆さんとユニバーサルツーリズム実現に向けた実地調査も進行中です。車イスだけではなかなか行くことができない砂利道や悪路もこれさえあれば楽々アイスイです。他にもまちの賑わいにより彩りをという思いで、組み立て式の「ヤタイ」を製作し、活用してもらっています。

また、障がい者の就労支援のきっかけにと『折り紙』について学び、角館駅前蔵に『華コマ』『兜』『秋田犬』などを置いてもらい、観光でいらした方にお土産としてお持ち帰りいただきたいです。一度、桜木内地域の方と『折り紙教室』をさせていただきましたが、楽しい時間でした。また機会があればやりたいですね。

と、活動は多岐にわたりますが、これからも自分らしく楽しく面白く活動を続けていきます。まちで会う機会も多いかと思います。まちで会う機会も多いただけるとうれしいです!

8月31日、仙北市地域おこし協力隊として平成27年9月1日から田沢地域の振興を主として活動をしてきた尾崎美由紀さんが3年間の任期を終え、門脇市長から感謝状が贈呈されました。

尾崎さんは任期終了後も仙北市に定住し、昨年立ち上げたNPO法人タイニーフィールズで企業向けに職場のストレスを減らす研修などの事業を本格的に始めるそうです。

3年間を振り返って尾崎さんは「仙北市が好きで移住し、最初は皆さんから受け入れてもらうために苦労したこともたくさんありました。でも、地域おこし協力隊という名前がなくなるこれからのの方がもっと大変だと思っています。また、街中で声をかけてくれる方が増えてきてうれしいとともに、自分の居場所ができてきたなど実感しています。これからは皆さんからお力添えいただければと思っています」と話しました。

仙北市地域おこし協力隊 尾崎美由紀さんに感謝状



門脇市長(左)から感謝状を受け取る尾崎さん(右)。